

地方都市・住宅街における「宅配荷物の無人受取りスポット」に関する実証事業〈結果概要〉 (株式会社Every Will)

事業の目的

- ・宅配ドライバーの「荷物の届け先が多すぎる」「再配達が多すぎる」という社会問題、人手不足の解決に貢献

取組内容

- ・不動産の未利用スペース*を活用した「無人拠点」に、宅配ドライバーがいつでも複数の荷物をまとめて置くことができ、個人(荷受人)が報酬と利便性を対価に自分の荷物を取りに行く「荷物を届けない運送サービス『トリック』」の新規事業展開を企図。
*狭くとも1.5坪程度の未利用スペースがあれば拠点化が可能



- ・「地方都市・住宅街」における実現可能性を検証するため、2025年10~12月の約2か月間、無人拠点を「北九州市小倉/北方エリア住宅街」(毎日24時間営業)と「大阪市梅田駅改札前」(平日10:00~18:30営業)へ展開し、実証事業を実施



実施体制

- ・実証事業を実施にあたり、不動産業者、ビルセキュリティ事業者、アプリ開発・システム提供事業者、運送事業者(宅配便、EC配送)、地方自治体等との連携体制を構築

事業の成果

- ・利用者は30~40歳代がボリュームゾーン(子持ち&共働き夫婦で自宅手渡しや置き配にストレスや不満を持つ層)
- ・利用者アンケートでは95%以上がトリック利用の継続意向を示す
- ・自宅へ宅配せず、消費者に当拠点まで荷物を取りにきていただくコストが数円~数十円(ポイント還元)であることを立証
- ・利用者ヒヤリング結果では、宅配ロッカーやコンビニ受取とは競合せず、自宅宛て宅配の代替となっており、利用者の新たな行動変容を喚起。

項目	北九州拠点	梅田拠点
荷物の受渡し数(1か月あたり)	189個	390個
再配達発生数	累計0回	累計0回
イレギュラー事案発生数	累計0回	累計0回

事業の効果 (KPI)

- ・KPI(再配達数削減率、ドライバーの労働時間削減率)は計画を上回る水準で達成。

指標(ドライバー1人あたり)	目標	北九州拠点	梅田拠点
再配達数の削減率(月間)	5.00%以上	7.56%	15.98%
労働時間の削減率(月間)	4.33%以上	6.49%	5.12%

※ドライバー1人当たり配達個数:125個/日
現状の再配達率:北九州9.5%(宅配3社バース)、梅田8.4%(大手6社バース)
再配達1件に要する時間:0.25時間/件として算出

- ・商業施設内で展開した梅田拠点では、利用者の28%が近隣店舗で「ついで買い」を実施し、店舗売上増に寄与(集客装置としての効果)

成果の活用可能性と課題、今後の展望

- ・本事業成果をもって自社基軸事業として今後も注力・推進
- ・宅配ロッカー運営事業と同様、宅配事業者から同社に拠点利用料等が支払われる形で協業を実現し、拠点展開を図ることが重要